

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年10月10日 NO.47 (147)

オー君 「モンタ博士！皆既月食！見ました。感動しました。」

花ちゃん 「少し雲はありましたが、お月様を自分の目で見れてうれしかったです。」

モンタ博士 「それはすばらしかったね。あのね、3年生のSくんは、おうちで観察して、その様子を写真入りで届けてくれたんだ。すごい自由研究で感心したよ。それで、天体についていろいろとお話したついでに、もう一つ、お話しさせてほしいね。ちょっと難しいけど、地球が自分でまわることを『自転』とってね、太陽のまわりをぐるっとまわることを『公転』というんだ。」

オー君 「『自転』と『公転』ですか、初めて聞く言葉です。」

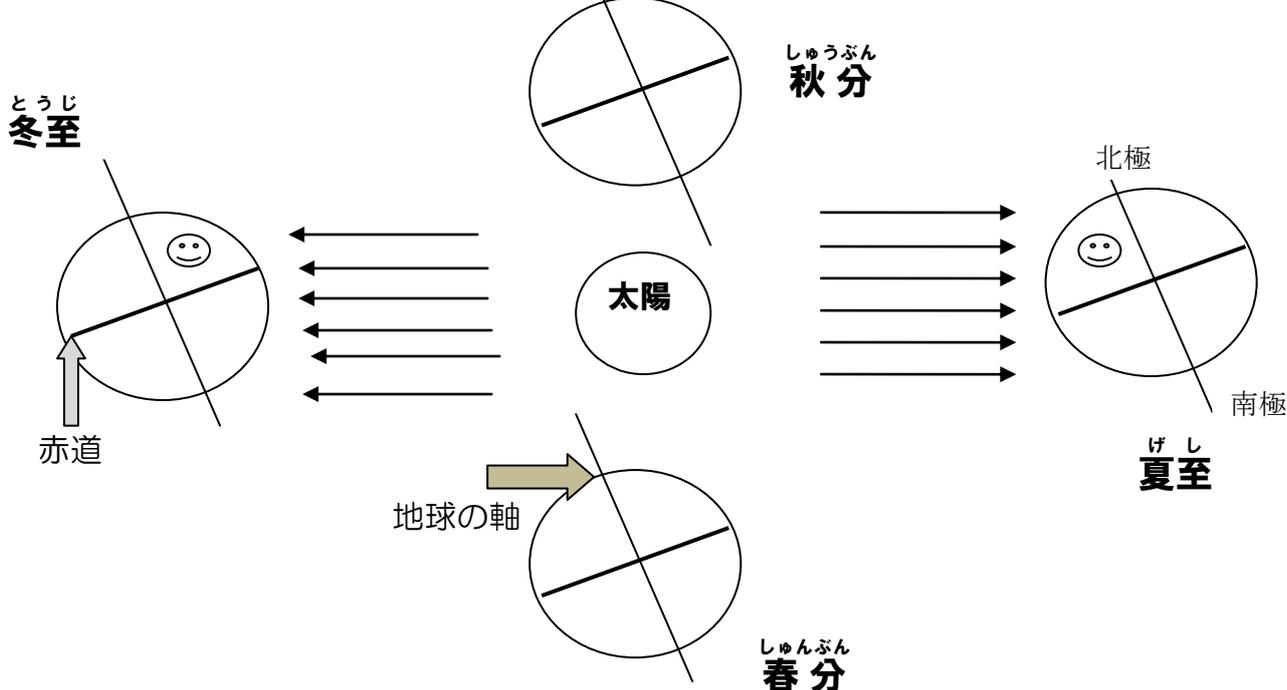
モンタ博士 「言葉はまあいいとして、地球が太陽のまわりをまわることで、季節によって温かさや寒さがちがうんだ。その秘密が『地球の自転・公転』にあるんだよ。」

花ちゃん 「え！それはどういうことですか。」

モンタ博士 「地球がふつうにまっすぐに自転していれば、季節の変化なんてないんだ。でも、地球は23.4度かたむいているから季節ができるんだよ。」

オー君 「え！それはどういうことですか。」

モンタ博士 「まず、地球はね北半球と南半球とに分かれているんだ。もちろん日本は北半球にあるけどね。この後は、下の絵を見ながら説明しよう。」

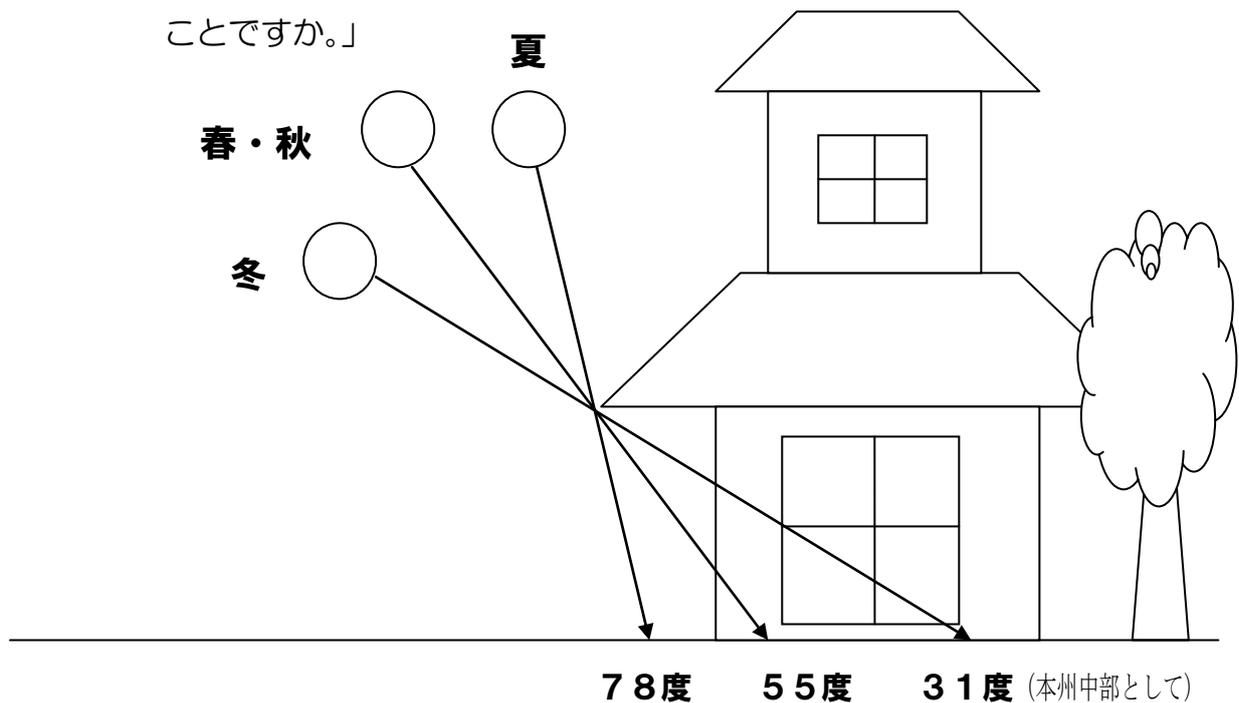


モンタ博士「夏になるとね、太陽は赤道の北側を強くてらすようになって、北半球にある日本では（☺ マークが日本）、昼が長くなり、太陽が頭の上高くのぼるといことなんだ。」

花ちゃん「そうか、冬になると、南半球を照らすことが多くなって、日本では、昼が短くなり、太陽が低くなるということですね。」

モンタ博士「その通りだ。その通りだよ。」

オー君「モンタ博士、わかってきたようです。ぼくも絵をかきます。つまりこういことですか。」



オー君「冬は太陽がななめにてらして、寒いんだ。それに比べて、夏は頭の上から強くてらして暑くなるということなんだ。」

花ちゃん「春と秋は、太陽の高さがちょうどよくなって、きもちのいい季節になるといことなんですね。」

モンタ博士「地球上の温度は、太陽が頭の上からてらすか、ななめからてらすかで暑さや寒さがきまるんだ。」

オー君「赤道の近くでは、頭からてらされる期間が長いので暑くなり・・・。」

花ちゃん「北極や南極地方はいつも太陽がななめからあたるので、とても寒いといことなんですね。」

モンタ博士「季節の変化は、地球の公転が関係していて、地球の温度は、かたむきに関係あることがよくわかってよかったね。」